

PROFILE

岩沼市 総務部 さわやか市政推進課
いいの ゆうき
飯野 悠貴 さん
東京都羽村市より岩沼市に派遣

the 応援職員

NOW IS.
名取・岩沼
Natori・Iwanuma



玉浦コミュニティセンターのパンフレット制作や、開所式の準備も担当した。



飯野さんが制作に携わる「広報いわぬま」

飯野さんが岩沼市に着任したのは平成29年4月。配属されたのはさわやか市政推進課。広報広聴係と市民協働係を兼務しており、市の広報紙を制作、市民活動を推進・支援するための助成金の交付、地域コミュニティ再生のサポートなど、幅広い業務を担当しています。

大学を卒業して3年間、東京都羽村市で生涯学習関連の業務を担当していた飯野さん。携わっていた業務が一段落したところで、次のステップとして選んだのが被災地派遣でした。「東日本大震災が起こった時、自分は大学生でした。池袋で帰宅困難者になり、翌朝帰宅した時にニュースで見た津波の映像がずっと記憶に残っていて、少しでも被災地の力になれたらと思います、希望しました」。

飯野さんが岩沼市に着任したのは平成29年4月。配属されたのはさわやか市政推進課。広報広聴係と市民協働係を兼務しており、市の広報紙を制作、市民活動を推進・支援するための助成金の交付、地域コミュニティ再生のサポートなど、幅広い業務を担当しています。

飯野さんが岩沼市に着任したのは平成29年4月。配属されたのはさわやか市政推進課。広報広聴係と市民協働係を兼務しており、市の広報紙を制作、市民活動を推進・支援するための助成金の交付、地域コミュニティ再生のサポートなど、幅広い業務を担当しています。



市民主体の活動を支えていきたい。

info/area

{エリア情報} 復興や防災にまつわるニュースをお伝えします



東北・みやぎ復興マラソン2017

宮城県の沿岸部、名取市・岩沼市・亘理町にまたがるエリアで、震災後、県内初となる公認フルマラソン大会を開催。コースは復興が進む大地。「新しい感動・記憶・元気」を創り出し、心の復興へとつなぐ大会を目指します。

- 日時：平成29年9月30日(土)・10月1日(日)
- 場所：メイン会場 (START/FINISH地点) 宮城県立都市公園 岩沼海浜緑地・北ブロック



復興マルシェ2017

「東北・みやぎ復興マラソン」と同時開催。震災により被災した宮城県の市町村のグルメなどを楽しむことができるほか、岩手県・福島県・熊本県の特産品も盛りだくさん。ランナーをはじめ、一般客も入場可能。「食」を通じて前進する東北の今を感じてください。

- 日時：平成29年9月30日(土)10時~16時・10月1日(日)9時~17時
- 場所：宮城県立都市公園 岩沼海浜緑地・北ブロック
- アクセス：仙台空港駅・岩沼駅から無料シャトルバス運行

上記2イベントのお問い合わせは ☎ 東北・みやぎ復興マラソン2017事務局 ☎022-796-4818 詳しくは「東北・みやぎ復興マラソン2017」ホームページをご覧ください。 <http://www.fukko-marathon.jp/>

今月のガイド



玉浦西まちづくり住民協議会 会長
仙台空港周辺まちづくり協議会 副会長
岩沼市相野釜町内会 会長



中川 勝義 さん

岩沼市の玉浦西地区は、岩沼市沿岸部の6地区が集団移転してできた新たな町です。震災の8カ月後には集団移転が決定、平成24年8月に造成工事が始まり、平成27年5月には移転完了。大規模な集団移転としては最も早く完了したと言われています。「もともと地域の絆が強かったからだと思います」と話すのは、玉浦西まちづくり住民協議会会長の中川さん。玉浦西地区でも絆を手放したくないと、元の集落ごとに集まって区分けされています。住民みんな白地図に線を引き、話し合っただけで進められました。「高齢者の生きがいづくりはもちろんです。若い世代が住み続けたい。『まちづくり』をしていきたい。」と中川さんは話してくれました。